

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和2年4月1日掲載

2年1組 平松 拓士

「来週から2週間休校です。」担任の先生からそう聞かされたとき僕は内心喜びました。しかし、そんなに楽しいものではなかったと私は気づきました。この休校中に考えたことが二つありました。

一つ目は、学校の必要性です。いつもは学校に行きたいと思うことはあまりありません。どちらかというに行きたくないと思うことの方が多くあります。しかし、今回のように外出も自粛となると学校に行きたいと思うようになりました。それに、学校がないと友達とも会えないのはとても寂しいものでした。

二つ目は、休みが多すぎると怠けてしまうということです。もし、学校があるときには嫌なことでもやるべき事はやっていたと思います。しかし、家の中にいると自分に甘えてしまい何でも後回しにしたり、嫌なこと、苦手なことは親に押しつけたりします。これが続くと自分も成長しなくなると思うので少しずつ、家でもやれることをしていきたいと思いました。

この休校中最初はうれしかったけれど、これだけ休みが長いとつらくなるということを感じました。今後春休みに入っていきますが、自分に甘えず生活していくことが新学期につながると思うので、計画的に生活していきたいです。